



コンバインによる小麦の収穫

NO. **38**
令和4年
6月定例会号

● 目 次 ●	
臨時会・定例会の概要など	1
代表質問	2～3
一般質問、議案審査特別委員会 (臨時会)の審査概要など	4～5
議案審査特別委員会 (定例会)の審査概要	6
本会議での討論など	7
常任委員会等の動きなど	8

臨時会の概要
令和4年第3回臨時会を5月16日に開催し、令和4年度一般会計補正予算（第2号）などについて審議しました。

定例会の概要
令和4年第4回定例会を6月13日から7月1日までの19日間の会期で開催し、令和4年度一般会計補正予算（第5号、7号）や条例の改正などを審議したほか、各会派の代表者6人が市長の市政執行方針に対する代表質問を、15人の議員が一般質問をそれぞれ行いました。

国会などへ意見書を提出
4つの意見書を可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。（7ページ参照）

陳情2件を議決し、新たに陳情1件を付託
「令和3年陳情第6号 帯広市泉町とかち帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定について」は不採択、「陳情第1号 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書提出について」は採択と決定しました。（下記参照）

「陳情第2号 帯広市名誉市民条例制定について」は総務委員会に付託し、閉会中継続審査を行うことに決定しました。

コロナ対策関連予算などを審議・可決（5月臨時会・6月定例会）

2つの陳情の審議結果（受理から採決までの流れ）

受 理	経済文教委員会での審査概要	本会議
○令和3年陳情第6号 帯広市泉町とかち帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定について 【趣旨】 帯広市泉町西8線（とかち帯広空港滑走路西側林内市有地）にあるアースハンモック（十勝坊主）の市文化財への指定を求めるもの	【主な質疑】 ・アースハンモックの文化財や観光資源などとしての価値 ・アースハンモックを除いて空港施設整備を行う可能性 ・文化財審議委員会における議論状況 など 【討論（抜粋）】 採 択 の 立 場 帯広空港敷地内に群生するアースハンモックは大規模、希少なものであり、市文化財に指定し保存すべき 不採択の立場 アースハンモックの状況や陳情者の願意は理解するが、市文化財指定の環境が全て整っているとは言えない	賛成少数 不 採 択 本会議に報告
受 理	厚生委員会での審査概要	本会議
○陳情第1号 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書提出について 【趣旨】 国会において、選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた積極的な議論が行われるよう、国に意見書の提出を求めるもの	【主な質疑】 ・陳情者4名の婚姻の形態や通称使用の状況と陳情提出に至った思い ・内閣府の選択的夫婦別姓制度に関する世論調査結果に対する認識 など 【討論（抜粋）】 採 択 の 立 場 個々の判断を尊重できる仕組みを整える議論を国ですすめるべき 多様性を尊重する社会の実現への大きな一歩となる 不採択の立場 法制化前提ではなく、選択的夫婦別姓制度に関する調査や議論を深めていく必要がある	賛成多数 採 択 本会議に報告

1 ※ 本紙では、新型コロナウイルス感染症のことを「コロナ」と略して表記しています。



石井 宏治 議員
(自民)



市長の政治姿勢と
市長公約の考え方について

【質】 市長選の得票数だけを見れば、半数以上の市民から評価を得られなかったということになるが、一方で、今回の選挙を通じて、市長は、様々な市民からの声を受け止めたと思う。広域連携だけではなく、市民の生活にも目を向けてほしいとの声が数多くあったのも事実。こうした市民の声に対する市長の認識を伺う。

【答】 これまで、誰もが夢や希望を持ち、幸せを実感できるまちづくりに向け、基盤となる仕事づくりや生活環境の充実に取り組んできた。今後も、多くの市民や企業、関係機関の皆さんなどの声を聞きながら、仕事づくり、教育、福祉、子育てなどの施策を総合的に推進し、全ての市民の幸せの実現につなげていきたいと考えている。

【質】 市長の市民に対しての情報発信不足についてこれまで指摘してきた。デジタル社会に対応した情報発信は重要と考えるが、認識は。

【答】 まちづくりには、多くの市民の皆さんに基本的な考え方や取り組みの方向性などに共鳴、共感いただき、積極的に関わっていただくことが大切であると認識している。市民の皆さんとの対話機会の充実

はもとより、SNSなど、様々なツールも活用しながら、よりわかりやすく、かつ適時の情報発信に努めていきたい。

【質】 市長は帯広少年院跡地の利活用に向けた方向づけを公約とし

て掲げている。これまでも市の未利用地の有効活用について、質問を重ねてきているが、少年院跡地の利活用については、どのように検討をすすめていく考えかを伺う。

【答】 国と情報交換をすすめており、今後は、緑ヶ丘公園が隣接し、周辺が閑静な住宅街となっている地域特性を踏まえ、様々な可能性を幅広く検討しながら、土地利用の方向性について整理していきたい。

【質】 経済関係者で構成する「ばん馬と共に地域振興をはかる会」では、ばんえい競馬の運営に対し、市の直営ではなく、別法人にすべきとの意見がある。市の人事異動に左右されず、専門的見地を持つ者が、騎手や調教師、馬主などの関係者をまとめ上げていくことが望ましいとの考えだが、市の見解を伺う。

【答】 ばんえい競馬は、平成19年度に帯広市の単独開催となり、他の地方競馬主催者における組合方式や公社方式などの運営形態とは異なり、本市の直営体制により運営を行ってきた。一方で、専門的知識が必要な業務の一部を民間会社に委託していることなどから、農林水産省から運営体制の見直しを求められている状況にある。主催者である帯広市としては、今後、中・長期的に安定運営を図っていくうえで、運営体制の強化を検討していかなければならないと考えている。

【提言】 ばんえい競馬の公社化については、私個人的には反対である。まずは、競馬関係者（馬主会・調教師会・騎手会）との協議の場を設けることを強く求める。



桒山 直義 議員
(立憲)



「より良い未来の創造へ」
米沢市政の四期目がスタート

一、新たなまちづくり

【質】 4期目公約にかける思いについて伺う。

【答】 今回掲げた17項目の公約は、コロナ後の新しい未来づくりに向けて、今から考えていく必要があるものであり、管内町村との信頼関係のもと、この地域の可能性を信じ、前向きな思いを持って暮らす皆さんとともに、全力でまちづくりをすすめる。

二、コロナ感染症対策

【質】 PCR検査などの検査数を増やす検査体制の整備が必要。また、診断、隔離をするための医療機関や医療従事者、療養ホテルの確保、濃厚接触者の追跡をしつかりと行っていくための保健所スタッフの支援などを行うことが重要である。取組みを伺う。

【答】 本市では所管施設などにおいて感染状況に応じ、検査を実施しており、道では感染に不安を持つ無症状の方に対する無料検査を実施している。今後も北海道に対し検査期間の延長など、感染状況に応じた体制の整備を求めていく。

三、デジタル化社会

【質】 デジタル化は便利になる反面、情報漏えいなどの懸念がある。デジタル偏重に走る危険性に対する認識を伺う。

【答】 デジタル化の推進においてはセキュリティリスクや情報処理のブラックボックス化などが課題と認識している。今後デジタル化

による効果と、こうした課題の両面をしっかりと意識しながら導入するサービスを検討していく必要があるものと考えている。

四、おびひろの「おいしい」給食プロジェクト

【質】 本事業と帯広市食育推進計画との関連を伺う。

【答】 子どもたちが大人になっても記憶に残るような学校給食をめざし、食の専門家や生産者などと連携した新たなメニューの開発に取り組むほか、給食提供に携わる人たちの思いを発信することで、食育推進計画に掲げる食への感謝の心の醸成や食に関する地域産業の理解促進にもつなげていく。

五、校務支援システム

【質】 システムが現場でどのような働きをするのか伺う。

【答】 校務支援システムにより、名簿などの基礎データがシステム内の帳票に反映され、転記ミスの防止や時間短縮が図られるほか、多くの時間を要していた成績表や年度末の指導要録が自動出力されるなど教職員の事務の負担が軽減される。また、スケジュール管理機能の活用により、職員間の情報共有が容易になり、打ち合わせ時間が短縮されるといったメリットもある。令和5年2月からの運用を予定している。

提言

校務支援システムは様式の画一化により、通知票の学校ごとの工夫や成績評価の独自性が薄れかねない。学校が学校たる基本に制限がかかる恐れがある。システムの運用にあたっては効果の検証が必要であり、市教委の適切な対応を求めたい。



大塚 徹 議員
(市政)



権腐10年、4期目当選を果たした
米沢市長の政治姿勢をたどす

権力は腐敗する

【質】 3期12年が一つのけじめ、権力は腐敗すると、前からただしてきた。市長は4期目に向かう中で、今後の行政運営をどのように考えるのか伺う。

【答】 権力が長期化することで結果として意思決定や組織の行動に好ましからざる影響を及ぼすこともあると認識している。改めて初心に戻り、責任の重さを常に顧みながら、公平、公正かつ誠実に市政に当たっていく。

情報発信

【質】 市長は情報発信、コミュニケーションをどのように変えていくと考えているのか伺う。

【答】 今後も政策の考え方や必要な情報をよりわかりやすく伝えるため、記者会見やSNSなどを活用した適時の発信に取り組み、市民の皆さんとの情報共有を図っていく。

都市間競争

【質】 人口減少の中、今や都市間競争は激しくなっている。ふるさと納税がよい例だが、私は都市間競争は帯広と十勝の差別化をすべきであり、帯広ブランドの育成にも力を入れるべきではないかとただしてきた。市の考えを伺う。

【答】 帯広産にこだわった商品開発が盛んになることで新たな魅力づくりや地域のブランド化につなげていきたい。

広域連携

【質】 今や釧路をしのぐ東北道の雄都として、ほかの中核都市をリードしていく行政がこれから大事であるが、認識を伺う。

【答】 東北道の各都市や十勝港、道央域との結節点に位置する帯広市は物流面、人流面において今後大きな役割を担っていくことができる。各都市が連携協力しながら、一つの圏域として発展をめざすことで十勝・帯広、ひいては東北海道全体の発展につなげていく。

「おいしい」給食プロジェクト

【質】 安全・安心な給食について、市のオーガニック給食に対する考え方を伺う。

【答】 有機食材による給食に関し、他の自治体で実施しているところでは、食材の一部に有機食材を使用している状況であり、帯広市においても同様の状況だが、今後も野菜の供給量や価格面での状況を見定めつつ、有機を含めた地場産食材の活用を基本とし、有機食材の将来性に期待し、学校給食の安定提供に向けて取り組んでいく。

ご当地ナンバー

【質】 市民の反対が多い場合は、町村が十勝ナンバーを導入しても帯広市は独自に導入しないのか考えを伺う。

【答】 ご当地ナンバーの地域名に十勝を使用するのであれば、十勝19市町村が一体となって導入することが望ましい。しかしながら、ご当地ナンバーの導入には住民との合意形成が重要。今後、市民の皆さんの意向を把握する中で、仮に市民の反対が多かった場合には導入できないと考えている。

※ 距離を取るなどのコロナ対策を実施しながら質疑を行っています。



藤澤 昌隆 議員
(公明)



市長の政治姿勢と 市長公約の考え方について

質 市長はこれまで3期12年間の成果をどのように評価し、次のステップを踏もうとしているのか、また次の4年間の課題は何か。

答 十勝・帯広の地域資源を生かした新たな価値の創出や魅力発信で、域外からの投資、多くの挑戦や人の流れができた。また、教育、福祉、子育て支援の充実で地域の発展基盤は厚みを増してきている。これまで積み上げてきた基盤の上に、将来発展につながる新しい種をまき、取り組むことが必要。

質 新規感染者がゼロにならない中で自宅療養者もいる。市と保健所の連携のもと、速やかに配給物を届けるという課題への対応は。

答 北海道の生活支援物資をあらかじめ保健福祉センターに備蓄し、保健所からの要請を受けて、市が代行により配達を行っている。

質 地方創生臨時交付金は、何に重点を置き、広く行き届く取り組みを行うのか。

答 市民や事業者から様々な要望をいただいている。適時必要な取り組みをすすめていく。

質 フードバレーとかちの取組みの「ニューステージ」とはどういう展開なのか。

答 これまでオール十勝で取り組んできた。この地の強みである「食」をまちづくりの真ん中に置き、産業振興はもとより教育や環境など地域や市民の暮らしに新しい価値をつくり出していく。

質 物価高騰、燃油高騰の中、肥料価格の高騰が重なっている。市長の認識と対策は。

答 国の事業を活用しながら堆肥の利用、減肥・減農薬の取り組みをすすめてきた。これらの取組みを通して海外情勢の変化の影響を受けにくい足腰の強い生産体制を構築していく。

質 食料の備蓄・加工・物流拠点の実現に向けて検討することだが考え方について伺う。

答 道東自動車道、帯広・広尾自動車道など広域交通ネットワークの充実により新たなビジネスや交流の拠点としても発展の可能性が広がっている。

質 アフターコロナの観光について、新しいグランドデザインを考えるべきと考えるが市の考えは。

答 トカプチ400のナショナルサイクルルート指定や日高山脈襟裳国定公園の国立公園化、アドベンチャートラベルの動きなどを捉え、需要が高まるアウトドア観光の取組みを地域DMOや関係団体と連携してすすめていく。

質 今、十勝管内で新しい道の駅ができています。今こそ、帯広市にも道の駅をつくり、観光客を滞留させる機能を持たせるべきでは。

答 これまでも、幸福駅や川西インターチェンジ周辺などへの道の駅設置についてご意見をいただいている。引き続き設置の可能性について慎重に検討していく。

質 ヤングケアラーを含むケアラー支援に重点を置くべきでは。

答 今後も関係機関との連携を深め、社会的な孤立を防ぐことで誰もが安心して暮らせるまちづくりにつなげていく。



稲葉 典昭 議員
(共産)



物価高騰から暮らしを守り、 すべての市民の幸せを

コロナから市民の暮らしを守る

質 コロナの拡大は、市民生活に大きな影響を及ぼしている。これまでの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の効果や施策の妥当性について検証が必要な中、感染者の9割以上が自宅と施設での療養となっている。サポートセンターなどを設け、「困りごと」はありますか」と声をかける仕組みづくりをすすめてはどうか。

答 保健所と連携、協議しながら自宅療養者の不安解消に向けた取組みをすすめる。

提言 十勝は保健所が圏域で1つしかない。北海道に対し、拡充を求めるべき。

物価高騰から暮らしを守る

質 物価高騰により市民の暮らしや地域経済は厳しさを増しており、新自由主義経済が格差と貧困を拡大している。コロナ禍で苦しむ市民への支援の現状は。

答 これまで約2万4千件の相談があり、内容に応じた支援制度につないだ。市税や保険料、水道料金などの猶予や減免は、約2200件で約4億6千万円。緊急小口資金なども15億円を超えている。

ジェンダー平等とまちづくり

質 日本における男女の賃金格差は年金も含めると、生涯で1億円にもなる。男女の賃金格差の是正は消費購買力を高めるとともに、経済成長の推進力になる。帯広市が発注する工事や委託事業、指定

管理業務は、男女を理由とした賃金格差は無いが、発注先の雇用実態はどうか。工事や委託先の実態調査の項目にジェンダー平等の項目も加えてはどうか。

答 実態の把握に努め、女性が働きやすい環境づくりにつなげる。

十勝の循環型経済は、日本の食料とエネルギーの安全保障

質 人が生きていく上で必要な食料とエネルギーの自給率を高めていくのは国家的課題。これまで議論してきた「食と農」「環境とエネルギー」がまちづくりの根幹。経済成長だけでなく、「すべての市民の幸せ」の追求が必要では。

答 豊かな自然、広大な大地の中で生み出される食を中心としたまちづくりを考えていく。フードバレーとかちという旗を産業政策からまちづくり、地域づくりそのものの旗に昇華することで、全ての市民の皆さんの幸せというものに向うづけができると感じている。

デジタル社会とまちづくり

質 岸田政権がすすめる「デジタル田園都市構想」は「超監視社会」を招く恐れがあるが、デジタル化への危うさの対応を含め伺う。

答 情報セキュリティなどの課題も踏まえ人を中心に人に寄り添うという考え方を基本に取り組む。

提言 個人情報保護では住民が自己の情報をコントロールすることができ、本人の意思により提供を停止することが出来る仕組みが必要。自治体のデジタル化は、持続可能な住民の生活保障や自治を、

デジタル技術とネットワークを利便してより豊かなものにするという趣旨で、「地方自治デジタル・プラス」である。



原 稗 議員
(開政)



市長の政治姿勢

本市の歴史文化のまちづくり

質 帯広市が開拓140年を迎えるにあたっての市長の認識を伺う。

答 困難に遭っても諦めず、明日を信じ乗り越えてきた先人たちの思いが、今日の帯広を築いてきた。

質 本市の誕生年月日の認識は。

答 特定の日を定めてはいないが、市制が施行された昭和8年を起点としている。

質 晩成社の史実をどのように残してきたのか。記録の残し方を研究し、市民にわかりやすく提供すべきと考えるが、市長の認識は。

答 晩成社の関係者が残した記録については、郷土史家によつて整理され、書物としてまとめられており、市民にさらにわかりやすく記録を提供する手法の研究は必要。

質 歴史文化を生かしたまちづくりをすすめるための基本計画を策定する考えはあるのか伺う。

答 歴史的評価を市民に定着させていくことが必要であり、市としては策定の段階に至っていないと判断している。歴史遺産を生かした郷土の理解促進の効果的な手法を見極めていきたい。

カーボンニュートラルに向けて

質 環境モデル都市としての取組みの成果について伺う。

答 計画に基づき再生可能エネルギーの導入促進や省エネの促進、公共施設の省エネ化に取り組み、温室効果ガス排出削減量は目標値を超える実績となっている。

質 ゼロカーボンについて新たな計画を策定し、取組みをすすめるとのことだが、具体的な取組みと管内の自治体との連携は。

答 来年度に新たな実行計画を策定し、推進していく。管内の自治体とは情報共有や勉強会の開催などの取組みを積み重ねていく。

帯広市の道路行政

質 今後の市道における効果的な維持管理の考え方について伺う。

答 骨格となる幹線交通網がほぼ出来上がりつつあることから今後は都市計画道路や通学路などの整備をすすめながら、予防、保全の視点を持つて維持補修など市道の適切な管理をすすめることが重要。

質 除雪安全連絡協議会から除雪費増額の要望書が提出されていた。その後の対策、対応について伺う。

答 要望に対しては、これまで継続して意見交換を行い、令和2年度には固定経費となる車両リース料の増額を行っている。

アフターコロナの観光行政

質 本市における観光を取り巻く現状と課題について伺う。

答 感染症の拡大により観光客数が大きく減少する一方で、豊かな自然が評価され、アウトドア活動への注目も高まっている。今後は、観光地としての認知度の向上や長期滞在に向けた取組みが一層重要。

質 帯広のまつり推進の考え方について伺う。また、今年の盆踊りはどのように開催していくのか。

答 安全・安心に開催するため、実行委員会で感染症対策の内容を検討している。盆踊りについては、実行委員会が前回の参加団体に意向調査を実施している。意見を参考に開催方法などを検討している。



林 佳奈子 議員
(自民)



公民連携と女性支援

質 空き家対策に関し、民間事業者への空き家所有者情報の提供について、いつ頃までに検討をすすめていくのか。

答 空き家情報の外部提供について所有者の同意取得の手法などを検討しており、今年度中に一定の方向性を出したい。

質 女性相談の中で見える課題とは。

答 DV相談件数は増加。離婚、生活困窮、障害、子育てなど幅広い分野の支援を要する相談者が増えてきている状況。

質 女性支援新法の理念に基づく考えは。

答 国の基本方針を踏まえ、庁内外の連携強化を図り、相談者に寄り添って行く。

提言 国の制度や支援策以外でも帯広市としてしっかり取り組んでほしい。



椎名 成 議員
(公明)



物価高騰から生活を守る
給食費の考え方・ハイヤー業界への支援

質 学校給食について物価高騰の影響が出ているようだが、給食費は現状維持とすべきと考える。市の見解は。

答 この状況が続いた場合、節減の努力にも限界があることから、食材の価格高騰への対応を財源確保も含め検討しているところ。

質 燃料高騰の影響を受けている交通事業、特にハイヤーに対する支援の考えは。

答 十勝地区ハイヤー協会から支援などについての要望があった。アフターコロナを見据えた運送力の確保などについても意見交換を行ってきたところ。

提言 免許返納者へタクシーチケットを提供するなどの支援を求める。



今野 祐子 議員
(公明)



ヤングケアラーの実態調査と支援および3歳児検診での視力検査について

質 ヤングケアラーとは日常的に家族の介護や世話を担う18歳以下の子どものことで、周囲から孤立している実態や長期にわたるケアが人間関係や就職活動に深刻な影響を及ぼしているケースがある。今後どのように実態把握していくのか。

答 今年度、道において道内の公立小学校全校の5・6年生に実態調査を実施予定。市ではホームページ上での周知のほか、相談窓口周知のポスター作成を検討。

質 3歳児検診で行う視力検査に屈折検査機器を導入することで目の異常の早期発見が可能と思われるが、市の考え方は。

答 屈折検査に関わる学習会や他自治体の状況の情報収集を行っている。



西本 嘉伸 議員
(市政)



公園整備のあり方は
てん菜生産は輪作には必要不可欠

質 公園は社会や時代の変化に対応する必要がある。高齢化の進行に対する公園整備のあり方について伺う。

答 本市では条例を制定し園路やトイレなどのバリアフリー化に取り組んでいる。

質 災害時の防災拠点としての公園施設の整備・利用の考え方は。

答 緑ヶ丘公園は広大な敷地があり、火災時の広域避難所に加え、応急仮設住宅の建設可能候補地やヘリコプターの離着陸可能地点など複数の機能を有する。

質 てん菜の生産に係る市の認識は。

答 てん菜は輪作体系に重要。国内の食料自給率向上に向け安定的な生産ができるよう需要拡大対策を国に要望する。



大林 愛慶 議員
(立憲)



今必要な「まちづくり要素」は
「若者・新フードバレー・物価対策」

質 将来のまちづくりを担う若者の置かれている状況を的確に把握し、声を受け止めながら様々な施策をすすめていくことが人口対策、これからのまちづくりに求められているのでは。

答 将来を担う若者世代が前向きな思いをもち、暮らし続けられるまちづくりが重要。地域の強みや資源を生かした事業の創出や子育て支援、教育支援などをすすめてきた。

質 15〜34歳の非正規率は29・6%。正社員化・定住に向けた企業との連携はどのように行っているのか。

答 民間事業者と連携し、学びと仕事のつながりに触れるイベントを開催。



杉野 智美 議員
(共産)



女性相談の体制の充実を
子どもの権利条例を子どもたちに贈ろう

質 国の調査では男女の平均給与には240万円の差があり、市の調査でも初任給などに差がある。困難を抱える女性への包括的法律も成立したが、市の女性相談支援員の体制を充実させるべきでは。

答 専門職員の配置は不可欠だが、高度な専門性と経験が求められる職種で、人材の確保・育成は全国的な課題となっている。持続可能な体制の確保を図りたい。

質 帯広市の子どもの権利を推進するため、子どもの権利条例制定を検討しては。

答 関係機関と連携しながら、子どもの権利を守る取組みをすすめていきたい。

提言 子どもの権利条例を子どもたちに贈ろう。子どもの権利条例を子どもたちに贈ろう。



木幡 裕之 議員
(自民)



高齢者雇用について・学校開放事業と
体育施設について・愛玩動物について

質 人生100年時代を見据えた帯広市の高齢者雇用の考えについて伺う。

答 高齢者の知識や経験を活かした就業機会の創出などに取り組み、活力ある地域社会の実現につなげていく。

質 学校開放が行われず、多くの利用者が活動場所の確保に苦慮しており、配慮が必要と考えるが、見解は。

答 他都市の状況や開放の基準について情報収集が必要と考える。

質 ペットとの同行避難時に飼い主自身

が用意しておくというケージや飲み水などについて、防災ガイドへの記載が必要と考えるが、今後の展開を伺う。

答 更新に併せ記載内容を充実させたい。



小椋 則幸 議員
(自民)



安全・安心に暮らせるまち、学校
適正規模の確保、動物園の魅力化

質 地域防災の強化に向け、ドローンを装備する考えについて伺う。

答 迅速な災害対応のために有用であると認識している。現在、民間との協定に向けて庁内で準備をしているところ。

質 校舎の長寿命化は、市の収入、財源が厳しい中でしっかりと検討しなければならぬと思うが、市教育委員会の考えは。

答 適正規模の確保などに関する取組みの内容とも整合を図りながらすすめる。

質 動物園の猛獣脱出への備えを伺う。

答 猛獣脱出に対する訓練は毎年実施し、来園者と地域の安全を第一に、あらゆる事態に適切に対応できるよう、職員の教育を行ってきた。



鈴木 正孝 議員
(無所属)



新しいステージで築く未来と広域
連携

質 新しい未来をつくることは、市長はどのような未来の景色を想像しているのか。

答 自らの目標に向かってチャレンジする人、自分らしき、前向きさを忘れない人、置かれている状況は様々だが、誰もが十勝・帯広の資源を大切にし、未来を信じて夢や希望を持って暮らす、そのような姿を思い描いたものである。

質 オホーツクを含めた東北北海道エリアの役割は大きい。連携拡大の考えは。

答 十勝圏での結びつきのさらなる強化に軸足を置きつつ、東北海道

の3圏域相互の連携を重層的にすすめる、1つの県に匹敵する経済規模を持った大きな発展力を有する圏域として次の時代につなげる。



大平 亮介 議員
(共産)



性的マイノリティーを想定した防災計画を
子どもの貧困対策として相談窓口の設置を

質 性的マイノリティーの存在を想定した防災計画がなければ、災害時の困難に対応することはできない。地域防災計画や避難所運営マニュアルなどに性的マイノリティーへの対応、配慮を明文化していく必要があると考えるが見解は。

答 地域防災計画などの記載について国や道、他都市の事例なども参考にしながら検討していく。

質 子どもの貧困対策としてワンストップですべての困りごとへの相談を受けられる相談窓口の設置を求めたいが見解は。

答 相談内容が複雑多様化する中、難しいと判断している。今後も関係部署などと連携し、相談対応に取り組む。



鬼塚 英喜 議員
(自民)



ウクライナ戦禍から学ぶ国民保護の取組み

質 国はウクライナ侵攻の教訓から安全保障のあり方と併せて国民保護法の検討の必要性があるとも言われる中、安全保障と国民保護への市長の認識と考えは。

答 国防などの安全保障は国が担うものだが、有事の際には、自治体として責務を果たせるよう、今後も国や北海道と連携しながら通報訓練や市民の避難行動に関する周知などに取り組む。

質 市の国民保護計画に記載の啓発について市はどのように行っているのか、また学校での教育はどのようなものか。

答 市立学校では無線通信訓練に際しJアラートの説明を行うとともに、避難訓練の機会を活用し安全教育を行っている。



上野 庸介 議員
(自民)



ふるさと納税を財源とし、市民の求める新しい施策の実施を考えるべき

質 ふるさと納税（基金）を財源とする施策の実施についてどのように考えるか。

答 新しい施策の基金繰入れにあたっては、基金の設置目的や残高の状況、事業の実施期間や事業費の見通しなどを総合的に勘案しそれぞれ判断する必要がある。今後もこうした検討を各部署に促しながら基金の有効活用につなげていきたい。

提言 「税金が何に使われているかわからない」という市民アンケートの結果もある。ふるさと納税は「税金」ではないが、ふるさと納税の活用を見える化すること、市のお金が何に使われているか、市民の理解が広がり、予算への理解も深まるのではないか。



横山 明美 議員
(市政)



岩内自然の村施設の利活用
牛乳の消費落ち込みは深刻
風倒木の処理

質 岩内自然の村の廃止後の建物や土地を利活用する民間事業者を募集する際には、自然豊かな周辺環境を生かす内容や持続的な運営に期待するが、市の考えは。

答 事業者には引き続き自然との調和や地域との連携を大切にし、エリアの魅力を引き出すような施設活用を求めている。

質 牛乳の消費が落ち込み酪農家への影響は大きい消費拡大への対策は。

答 牛乳・乳製品の無料配布やホームページなどによる情報発信により、広く消費者の理解促進に努める。

質 風倒木の処理状況と今後の対応は。



清水 隆吉 議員
(開政)



コロナ禍の部活動・少年団活動について

質 3月21日のまん延防止等重点措置解除後も部活動や少年団活動の制限があった。どのような考えで行っているか。

答 小中学校の学級閉鎖が後を絶たない状況で、小学校の卒業式の開催も危ぶまれる状況から、管内統一で21日ではなく24日より再開することとしたもの。

提言 教育活動に影響が出ないようにすることは理解するが、子どもたちは学校も一生懸命、少年団活動や習い事も一生懸命である。メールなどで制限の延長を知らせるにしてもどうなったら再開できるか基準を示すことが自粛をお願いする側の配慮としてあつてしかるべき。子どもたちにもう一步寄り添う姿勢が肝要。



清水 誠一 議員
(自民)



新中間処理施設および十勝リサイクルプラザについて

質 新中間処理施設は移転して建設するとなっているが、跡地利用と解体費は。

答 解体費は29億円との試算で、跡地利用については組合から示されていない。

質 建設費が290億円で候補地はハザードマップで浸水深5m以上だが、浸水対策と工法はどのようなものか。

答 浸水対策費は含まれているが、工法については検討会議で示されていない。

質 容器包装廃棄物処理施設十勝リサイクルプラザは建設費・運営費を構成自治体で支払ってきたが所有権は。

答 建設基本協定書を踏まえると、土地、建物の所有権は運営会社の株式会社ウインクリンが有すると認識している。

臨時会
(5月16日)

令和4年度補正予算に対する主な議論

【議案審査特別委員会】

新型コロナウイルスワクチン4回目接種

○ 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種から5カ月以上経過した60歳以上の方と基礎疾患を有する方を対象に4回目の接種が行われることになるが、コールセンターの体制強化などにより、接種希望者が安心して相談や接種予約ができる環境づくりに努めるべき。



子育て世帯生活支援特別給付金

○ 感染症の影響を受ける子育て世帯への5万円の給付金においては、児童扶養手当受給者や住民税非課税者については申請が不要である一方、家計急変者などは自ら申請の必要があり、過去の実績を見ても、予算の執行率が低く、対象者全員が受給できていない状況。庁内各部署が連携して給付金の紹介を行うなど、丁寧な周知を行い、受給漏れの防止に努めるべき。



本会議での討論

議案第40号、47号、49号に反対

杉野 智美 議員（共産）

市職員の期末手当の減額は、コロナ禍の市民の生活を支えるために強い使命感を持って奮闘する市職員の士気低下につながりかねず、民間給与が下がっているから公務員の給与も下げるということでは賃金引下げの負の連鎖を断つことはできない。処遇改善事業を行う場合、公務員賃金の引下げ分については穴埋め分も措置し、公定価格を維持する措置も取られているしたが、期末手当を減ずるべきではない。

賛否の分かれた議案など

その他の案件は全会一致で原案のとおり可決しました。市議会ホームページでは、すべての賛否を公開しています。

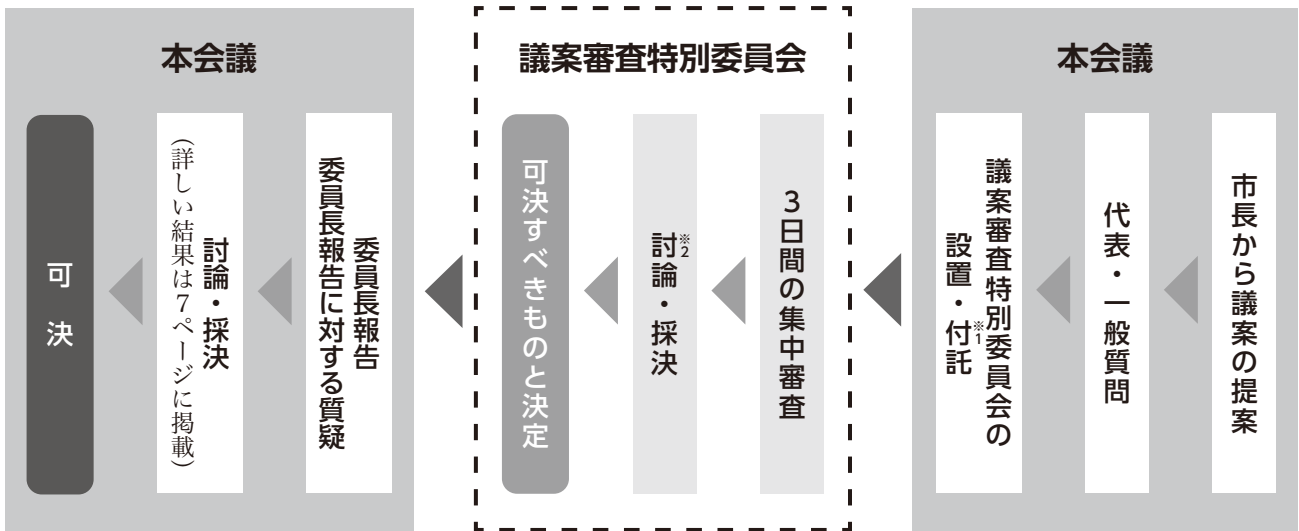
＜令和4年 第3回 帯広市議会 臨時会 採決結果一覧表＞ 賛成・・・○ 反対・・・×

議員名等	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
		石橋 勝美	佐々木直美	椎名 成	上野 庸介	林 佳奈子	小椋 則幸	鬼塚 英喜	大平 亮介	菊地 ルツ	大林 愛慶	清水 隆吉	今野 祐子	藤澤 昌隆	大和田三朗	木幡 裕之	石井 宏治	西本 嘉伸	杉野 智美	榎山 直義	鈴木 正孝	稗貫 秀次	清水 誠一	大竹口武光	大塚 徹	横山 明美	佐々木勇一	稲葉 典昭	鈴木 仁志	有城 正憲
議案名等		立憲	立憲	公明	自民	自民	自民	自民	共産	立憲	立憲	開政	公明	公明	自民	自民	自民	市政	共産	立憲	開政	自民	公明	市政	市政	市政	共産	共産	立憲	議長
議案第40号	令和4年度帯広市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第41号	令和4年度帯広市国民健康保険会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第42号	令和4年度帯広市後期高齢者医療会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第43号	令和4年度帯広市介護保険会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第44号	令和4年度帯広市ばんえい競馬会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第45号	令和4年度帯広市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第46号	令和4年度帯広市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第47号	帯広市職員給与条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛
議案第49号	帯広市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	賛

議案審査特別委員会の
審査概要

6月定例会では、市長から提案された補正予算などについて、議案審査特別委員会を設置し、審査を行いました。委員会での主な議論の概要について掲載します。

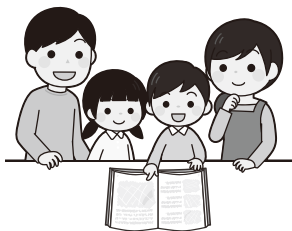
【審議の流れ】



審査1日目

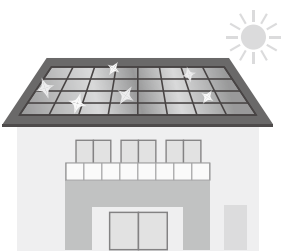
新しい防災ガイド

○ 洪水浸水想定区域が追加されたことなどに伴い、新しく作成する防災ガイドには、災害時における中高層建築物の注意点や性的マイノリティーへの配慮など、市民に周知すべき内容を新たに追加すべき。



新エネルギー導入支援の拡充

○ 帯広市内の温室効果ガス排出量は、家庭からが最も多く、3割を占めており、排出削減に向けては、市民一人ひとりの理解と協力が不可欠であることから、温室効果ガスの排出削減効果が高い家電製品を新エネルギー導入促進補助金の対象に加えるべき。



障害者の就労支援

○ 職場環境や業務内容が合わず、短期間で離職する障害者がいる一方で、人手不足などで障害者の雇用を望む企業も増えている。障害者が就職しやすく、かつ職場にしっかりと定着するには、企業側の理解が欠かせないことから、企業に頻繁に出向き啓発を行ったり、就労定着に向けた手厚い支援を行える専門的な人材を配置すべき。

除雪車両の適時更新

○ 除雪の際に受託業者に貸し出すロータリ車などの更新を行うとのことであるが、市が所有する除雪車両は老朽化がすすみ、標準使用年数の15年を大きく超えるものが他にも多くあることから、今後の円滑な除雪作業に向けて、計画的に更新をすすめるべき。



ロータリ車

木育の推進

○ 木材との触れ合いを通じた木育の推進を図るため、国からの譲与金を活用し、地域の木材でつくった木製遊具を児童会館や保育所2か所をはじめ、市内の全保育所や幼稚園に順次設置していく予定とのことだが、対象を幼児・児童に限定せず、他都市も参考に、乳児を対象とした取組みを検討すべき。



給食の新たなメニューづくり

○ 地元のシェフや農業者たちと連携して、給食の新たなメニューづくりを行うのは、とてもいい取組みだと思う。開発の過程を動画にして、子どもたちに「多くの人がこんなにも真剣に考えてくれたメニューなんだ」ということを知ってもらうべき。また、1回限りで終わるのではなく、来年以降もどんどん新しいメニューをつくっていくべき。



大学入学時の支度金貸付制度の創設

○ 大学などの入学時には、入学金や転居費用などの多額の費用がかかるため、50万円を上限とする貸付金制度を創設することは評価するが、在学中の4年という返還期間は厳しすぎる。期間内の返還が難しい場合も、相談に応じることなどが、一人ひとりの状況に応じた丁寧な対応に努めるべき。

動物園の魅力アップ

○ 6月10日に仔キリンが生まれ、キリン同士の争いなどを避けるための柵を設置することなどが、キリン舎も含め獣舎全体の老朽化が見受けられることから、計画的な獣舎の整備をすすめるべき。動物園の魅力アップに努めるべき。



動物園で生まれた仔キリン

審査3日目

歳入

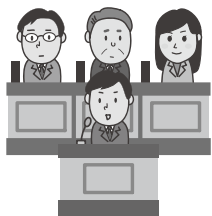
・ 原油価格や物価高騰などの影響を受けた市民生活や地域経済の状況を的確に捉え、国からの地方創生臨時交付金を活用した対策を実施すべき。

討論

・ 各会派を代表して、6人が賛成の立場で討論を実施。

採決

・ 全案件が全会一致で、委員会として原案の通り可決すべきものとして決定



※1 付託 → 本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。
※2 討論 → 採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べる。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

本会議での討論

要旨

原案に賛成

上野 庸介議員（自民）

今回の地方創生臨時交付金では、「原油価格・物価高騰対応分」が創設され、限度額の範囲内であれば、交付決定前でも事業着手が可能となった。

地域の実情にあった物価高・原油高対策を6月議会での議案提出、場合によっては首長による専決処分で事業実施できるわけだが、残念ながら、こうした対策は本議会では提出されていない。市民が何に悩み、何を求めているのか、必要な対策が必要な時期に施されるよう求める。

原案に賛成

大林 愛慶議員（立憲）

4期目、緊迫する厳しい国内外情勢のもとでの船出となる。市長は次世代利益につながる施策をすすめるとした。食の価値を高め、質の高い仕事づくりをすすめ、地域や市民の暮らしに新しい価値をつくり出していくフードバレーとかちがそのエンジンとなる。次世代利益において主役となるのは若者である。若い世代の熱い思いをどう施策に落とし込むのが問われており、「ニューステージ」が前進することを期待し賛成討論とする。

原案に賛成

西本 嘉伸議員（市政）

情報発信の強化は行政にとって必要不可欠。今後形を変えるだけの発信ではなく市民との信頼関係強化を期待。本年節目を迎える開拓140年市制90年事業にアイヌ民族の事業が無いことに疑問を感じ、善処を求める。市営住宅の指定管理者制度導入検討においては明確な方向性をいち早く示すべきと考える。市長4期目初の政策予算となるが、どのような視点を持ち執行するのか、慎重かつ大胆な方向性に期待を込め、賛成討論とする。

原案に賛成

藤澤 昌隆議員（公明）

限られた予算の中で、特に病んだ経済、中小企業の立て直しには、機動的な財政出動が必要である。そして市民生活をしっかりと支えていただかなければならない。そのためにも、これからの事業はより選択と集中が必要である。厳しい社会情勢であるからこそ、10年先を見据えた政治判断が必要である。今後とも、全ての市民の幸せを中心に、市民の声にしっかりと耳を傾け、安定した市政運営を行うことを強く求め、賛成討論とする。

原案に賛成

稲葉 典昭議員（共産）

コロナの感染拡大については、これまでの施策・措置の政策的検証が必要。自宅・施設療養者に対し、市の保健福祉センターから「困ったことはありませんか」と一声かけて支援物資を届ける仕組みづくりを求める。また、現役世代を中心とした後遺症対策、子どもたちの不登校とうつへの対応に多面的な相談体制の確立が必要。物価高騰が市民の暮らしと地域経済を直撃しており市民の消費購買力を高める支援策が必要。

原案に賛成

清水 隆吉議員（開政）

本年、帯広市は開拓140年を迎え、米沢市長は4期目のスタートにあたり、未来に向かって新しい種をまくとしている。その種は、帯広140年の歴史を踏み固めた土にまかれるものでなければならぬ。強い十勝農業の背景には、土壌改良、土壌整備の努力の積み重ねがあり、まちづくりも同じであろうと考える。堅実な行政運営のみならず、安心感や納得感の得られるリーダーシップをとっていただくことを要望して賛成の討論とする。

賛否の分かれた議案など

賛成・・・○ 反対・・・× その他の案件は全会一致で原案のとおり可決しました。
市議会ホームページでは、すべての賛否を公開しています。



＜令和4年 第4回 帯広市議会 定例会 採決結果一覧表＞

自民…自由民主党帯広市議団 立憲…立憲民主・市民連合 市政…市政会 公明…公明党 共産…日本共産党帯広市議会議員団 開政…開政会

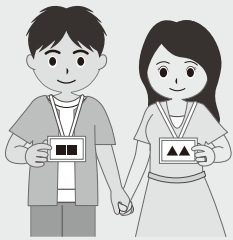
議員名等	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
		石橋 勝美	佐々木直美	椎名 成	上野 庸介	林 佳奈子	小椋 則幸	鬼塚 英喜	大平 亮介	菊地 ルツ	大林 愛慶	清水 隆吉	今野 祐子	藤澤 昌隆	大和田三朗	木幡 裕之	石井 宏治	西本 嘉伸	杉野 智美	樗山 直義	鈴木 正孝	稗貫 秀次	清水 誠一	大竹□武光	大塚 徹	横山 明美	佐々木勇一	稲葉 典昭	鈴木 仁志	有城 正憲
議案名等		立憲	立憲	公明	自民	自民	自民	自民	共産	立憲	立憲	開政	公明	公明	自民	自民	自民	市政	共産	立憲	／	開政	自民	公明	市政	市政	市政	共産	／	／
令和3年 陳情第6号	帯広市泉町とかち帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定について	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	議長
陳情第1号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書提出について	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
意見書案第5号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書について	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

国会などに提出した意見書

令和4年6月定例会において、全会一致または賛成多数で意見書案を可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。意見書の要旨をお知らせします。（全文は市議会ホームページからご覧いただけます）

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書

国における選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた積極的な議論を求める



地方財政の充実・強化に関する意見書

- ・ 増大する地方公共団体の財政需要の的確な把握と、十分な地方一般財源総額の確保
- ・ コロナ対策のための十分な財源措置
- ・ 社会保障関連経費の拡充
- ・ 看護・介護・保育などに加え、多くの職種での処遇改善に必要な予算の確保や制度改善
- ・ デジタル化への対応に必要な財源の確保 など



「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」の拡充・強化と食料安全保障の強化に向けた国の予算確保を求める意見書

- ・ 「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」の継続実施と拡充・強化
- ・ 自国の食料は自国で生産・消費するという考え方の国民理解の醸成と将来を見据えた食料の安定供給に必要な予算の確保



令和4年度北海道最低賃金の改正に関する意見書

- ・ 政府の最低賃金全国平均1000円到達の目標を尊重し、最低賃金引き上げ
- ・ 中小企業における賃上げしやすい環境整備などに対する支援の充実



意見書

提出

国会や関係行政省庁

各意見書の全文はこちら⇒



常任委員会等の動き 5月～7月

総務

重点調査項目

地方創生及び広域行政／効果的・効率的な行財政運営／地域防災

質問通告

「6月」更なる投票環境向上に向けて市のなすべきこと

付託案件

「陳情第2号」帯広市名誉市民条例制定

重点調査項目

保健予防・医療／子育て支援／高齢者・障害者福祉及び介護保険／市民協働及び男女共同参画

理事者報告

「5月」第二期けんこう帯広21の計画期間延長／帯広市パートナーシップ制度（原案）等

「7月」帯広市パートナーシップ制度等のパブリックコメントの実施結果等

質問通告

「5月」ひきこもり等の複雑な相談対応／民生委員・児童委員の現状と課題

「7月」生活困窮者の現状と対応付託案件

「陳情第1号」選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書提出

経済文教

重点調査項目

農林業及び畜産業の振興／地元企業の活性化及び観光振興／学校教育／文化及びスポーツの振興

理事者報告

「5月」きゅう務員による不正行為／令和3年度ばんえい競馬の発売成績等／ばんえい競馬開催による地域への経済波及効果／農作物の生育状況／西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業／「帯広市岩内自然の村」の方向性

議会運営

協議事項

会派届出事項変更届の受理／新たな議会構成に伴う確認事項／令和4年第3回臨時会の運営／議会運営検討項目／議会基本条例に基づく取り組み／令和4年第4回定例会の運営

建設

重点調査項目

都市計画及び地域公共交通／住まい／道路・橋りょう／みどりと環境保全／上、下水道の維持管理

質問通告

「5月」容器包装廃棄物の処理／新中間処理施設の整備とくりりんセンターの防災対策及び跡地利用

「7月」新中間処理施設の整備及び容器包装廃棄物の処理



経済文教委員会の実地調査の様子

質問通告

「5月」ウクライナ避難民の受入対応／社会教育施設の学習スペース

付託案件

「令和3年陳情第6号」帯広市泉町とかち帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定

実地調査

7月26日に、牧場の6次産業化の取り組みやてん菜などの生育状況などの調査を行いました。

議会トピックス

令和4年度 市民意見交換会を開催します！

議員と話してみませんか？

とき

10月15日（土） 10：00～11：30

ところ

とかちプラザ1階 大集会室

申込み不要！気軽にお越しください！

テーマ

総務委員会
厚生委員会
経済文教委員会
建設委員会

地域防災について
高齢者福祉について
学校給食の魅力向上について
効果的・効率的な除雪について

選べる4つのテーマ！

感染症対策へのご協力をお願いします！

帯広市議会では、市民の皆さんからいただいたご意見を、議員一人ひとりが議会での議論に活かしていくため、市民意見交換会を開催しています。（コロナの影響により3年ぶりの開催となります）

本年は、新たな試みとして常任委員会ごとにブースを設け、それぞれの所管事項からテーマを設定し、市民の皆さんと意見交換を行いたいと考えています。

申し込みは不要で、どなたでもご参加いただけますので、当日は直接会場にお越しください。皆さんのご参加をお待ちしています。

※コロナの感染状況によっては中止させていただく場合がございます。



過去の市民意見交換会の様子



～令和4年9月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時		会議内容
9月	5日（初日）	13時～ 本会議
	6日	10時～ 議案審査特別委員会
	9日、12日～15日 ※9日は予備日	10時～ 一般質問
	16日、20日、22日 26日～28日	10時～ 決算審査特別委員会
	30日（最終日）	13時～ 本会議

※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。（感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります）
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、生放映と録画放映を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。



市議会
ホームページ



インターネット
映像配信

編集後記

コロナ禍とウクライナ情勢の影響および物価高騰など様々な課題の中、米沢市長の4期目の市政がスタートしました。市議会は令和4年度初めての定例会が開催され、各会派の代表質問・一般質問や一般会計補正予算審議の中で、市民の暮らしを守るため、防災・子育て・医療・観光などの課題や取り組みに対し議員から提案がありました。今後とも市議会議員一丸となり安心安全なまちづくりのため精進してまいります。

（編集委員 鬼塚 英喜）